

2018年12月5日  
株式会社みずほ銀行

## 深圳清華大学研究院との業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、12月4日付で深圳清華大学研究院（Research Institute of Tsinghua University in Shenzhen）との間で、日本と中国のスタートアップ企業の事業成長支援にかかわる業務協力覚書を締結しました。

深圳清華大学研究院は、深圳市政府と清華大学の共同出資のもとに1996年12月に設立された研究機関で、中国南部での技術促進による経済・社会の発展、ハイテク関連の上場企業や人材の育成を担う重要な拠点です。

また、技術・産業発展のトレンドや企業からの要請を踏まえ、これまでに6億人民元を投じ、ブロードバンド無線通信研究所、電子情報技術研究所、新材料および生物化学研究所、オプトメカトロニクスおよび先進製造研究所、新エネルギーおよび環境技術研究所を設立し、各研究所で構成する技術支援プラットフォームを形成しています。

深圳は、電子部品産業を中心に製造能力やサプライチェーンの高い集積度を有しており、多数のベンチャーキャピタルから投資が行われていることから、スタートアップ企業の勃興が続いています。

〈みずほ〉は、本件ならびに2018年11月の香港・中国の政府傘下機関との覚書締結を通じ、スタートアップ企業への投資促進、事業デモイベントへの参加、日本と中国のスタートアップ企業の相互紹介等により、日中のスタートアップ企業の事業成長をサポートし、日本ならびに深圳・広州・香港等を含む大湾区の経済発展に貢献していきます。

以 上